

とちぎ夢大地応援団活動報告（4月19日実施）

佐野市 多田地区

「土水路の堀ざらい、耕作放棄地の刈り払い、灌木の伐採」

佐野市多田町の柴田保全会（奥正義会長）のとちぎ夢大地応援団活動が4月19日、応援団員17名、地元保全会員13名、関係機関7名の合計37名が参加して行われました。

同地区は、昨年11月に1回目の夢大地応援団活動を行い、1.5haの耕作放棄地の草刈りや灌木の伐採を行い農地を再生させたのを契機に、その後残りの放棄地2.5haも地元保全会員の手で再生を図りました。今回は、再生農地の土水路の堀ざらいやため池周辺の草刈り、一部残っていた灌木の伐採などを行いました。

スコップを手にした応援団員は、ほとんど泥で埋まった水路（約200m）を午前と午後にわたってぬかる足場に悪戦苦闘しながらさらい、水が流れるようにしました。地元の人たちは「応援団のおかげでしばらくぶりに水路が蘇った」と感激していました。

また、昼食あとの交流会では、応援団員が「次回の活動にもぜひ参加したい」と、地元の人が「これからもよろしく」と、それぞれ言葉を交わしていました。



昨年の11月までは、背景には背の高い草や灌木で覆われた耕作放棄地（約4ha）が広がっていました



支援への感謝のあいさつを行う地元・奥会長



ほとんど泥で埋まってしまっていた土水路を水が流れるように復元しました



灌木の伐採や草刈りも行いました



応援団員と地元の人たちの交流会のようす